

就労選択支援事業所指定基準別表

ともに

別表

(さっぽろ障がい者プランに定める重点取組「事業所の質の向上の取組」)

実施可否欄及び対応可能な障がい種別欄に○印を記入し、本用紙を提出してください

アセスメント 実施手法	具体的な確認内容	実施 可否	対応可能な障がい種別		
			身体	知的	精神
アセスメント実施計画書	事業所としてアセスメント実施計画書を作成し、それを活用して体系的に記録・判断できる ※アセスメント実施計画書(計画内容、実施方法、評価基準、就労アセスメント表、利用者へ提示するフィードバックの様式を含む)を添付	○	○	○	○
標準化検査	実施方法(ツール、手順など)を以下に記載	○	○	○	○
	○BWAP2(ベッカー職場適応プロフィール)。 事業所での行動や作業活動場面を観察し、ハードスキル(作業能力)、ソフトスキル(日常生活、コミュニケーション、対人関係)の両面をアセスメントするため使用している。				
職務(環境・課題)分析	実施方法(視点、ツール、手順、場面設定など)を以下に記載 ※環境と共に職務の内容や一連の流れ、構造を分析できること(ワークサンプル、模擬的就労場面等と関連付けて実施できること。例えば「就労支援のためのアセスメントシート」における環境の視点を有すること)	○	○	○	○
	模擬的就労場面において、目標とする行動を学習しやすいように一連の流れに沿って順序立てたり、出来る部分は繋げたりとスモールステップ化を図っている。また、理解度に応じて効率的に教える技法、システムティック・インストラクションを用いている。				
ワークサンプル	実施している機器の種別(※)、実績(複数の使用年数・件数)及び具体的な実施・評価方法を以下に記載 ※ワークサンプル幕張版等	○	○	○	○
	○ともに版「カード分類」(10年、月2件) 職業センターで実施されているカード分類を参考にして作成。正確性、スピード、手指の巧緻性、集中力、ミスの発見、積極性を評価。職業上のストレングスを把握するツールとして使用している。				
模擬的就労場面	事業所で実施する場合にどのような環境で、どのような就労場面を設定できるか ※マニュアルや実績等の添付、または可能な手法を以下に記載	○	○	○	○
	就労移行支援・就労継続支援B型として指定を受けている、当事業所で実施している生産活動場面を活用(工場内タオルたたみ作業、縫製作業、清掃作業、軽作業)。				
職場実習	職場実習の実績があり、必要とされるアセスメントを実施できる(具体的な実績を以下に記載)	○	○	○	○
	札幌市の就業体験実習(インターンシップ)を活用している。				

※上記6項目中4項目以上の実施が可能であり、かつそれぞれの項目において複数の障がい種別に対応可能であることが必要

※どのようなアセスメントが実施可能なのか利用者に分かりやすく示すこと(例:別表を拡大等して事業所内に掲示、利用者に個別に配布・説明)

※記載欄が不足する場合は欄の追加または別紙の添付可